

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院形成外科に、眼瞼疾患で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学形成外科講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

眼瞼, 眼窩手術における経過の評価を目的とした後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学形成外科講座 教授 朝村真一

3. 研究の目的

眼瞼は視覚に関わる重要な器官です。形成外科では眼瞼疾患である眼瞼下垂症、眼瞼内反症、眼瞼外反症、先天性眼瞼下垂症、先天性睫毛内反症、眼瞼・眼窩腫瘍、眼窩骨折の手術を行っています。一方で、それらの治療後の経過に関する報告は少ないです。術前と術後の診療録、臨床写真に関して適切な解析を実施することで過去における手術治療成績を評価することを目的とします。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2015年7月1日から2024年11月26日までの期間中に、眼瞼疾患（眼瞼下垂症、眼瞼内反症、眼瞼外反症、先天性眼瞼下垂症、先天性睫毛内反症、眼瞼腫瘍、眼窩骨折）の治療を受けた方。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、画像検査（CT, MRI）、手術方法と手術合併症、臨床写真に関する情報です。

(3) 方法

臨床写真より手術の結果と眼瞼の形態について評価します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

なし

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学形成外科講座 担当医師 朝村真一

TEL : 073-447-2300 FAX : 073-441-0873

E-mail : prs@wakayama-med.ac.jp